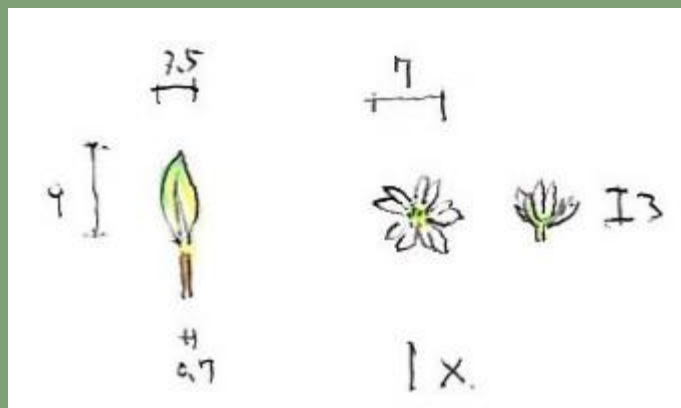


## 見沼たんぼ・野草スケッチ「ノミノフスマ」

科名： ナデシコ科ハコベ属

花言葉： いじらしい



ノミノフスマ 16. 3. 22 JR 武蔵野線と芝川の東側線路脇にて

P. S. 今までこの小さな白い花が咲いているのは、気がついていましたが「ハコベ」と思いこんでいました。今年、よく見ると葉がハコベより小さく葉付きも少なく何だか草の姿がスカスカしていたため念のため採集しよく観察してみました。



上部より撮影



サイドより撮影

### 「ノミノフスマ (ハコベの仲間)」

原産地：北海道から九州まで、朝鮮と中国にも分布する。

生育地：やや湿ったところ。

茎：越年草。茎は根元が細く、まばらに分枝。多少根元が横に這う。あまり広がらずに立ち上がり、草丈は15-25cm。

葉：若干厚みがあり扁平で細長く、つや消しのような表面をしている。草丈は、15 - 50cm 程度

花期：春から夏にかけて咲くが暖地では冬にも花が見られる。

花：茎の先端に集散花序をつけ、数個の花が着く。萼片は尖って長さ3mmほど、花弁はこれよりちょっと長い。

花色：白色で中央が根元近くまで裂けるため、10弁のように見える。

果実：花弁と同長。

種子：腎円形、直径 0.7mm、鈍突起がある。

名前の由来：「蚤の衾（布団）」で、小さな葉をノミの夜具にたとえたとのこと。

記述は、Wikipedia のサイトなどを参考にさせていただきました。